

平成29年度 介護関係職員医療連携支援事業 研修会

# 認知症と虐待

宮崎直人

## 身体拘束廃止未実施減算 追加要件

- 身体拘束の適正化に向けた対策会議を3ヶ月に1回以上の頻度で開催し、その結果を介護職員に周知する
- 身体拘束の適正化に向けた指針を整備する
- 身体拘束の適正化のための研修を定期的で開催し、介護職員などに受けてもらう

## 運営について

- グループホームと地域密着型の特養・介護付きホームについては、運営推進会議を対策会議として活用することも認められる方向。
- 詳細は、年度末にかけて詰めて行き、固まり次第通知するとしている。

## 他者ケアからセルフケア へのすすめ

ほんとうに伝えたいこと

## 実際にあった虐待の事例

- 夜間、オムツ交換の時間となったので、Aさんのオムツを取り替えようと訪室し声をかけたが起きない。Aさんのオムツに手を入れ確認したところ尿で汚れていた為、そのままオムツの交換を始めた。すると突然Aさんが目覚め、大声を出し、スタッフの髪を引っ張ったり、顔を殴るなどの暴力を振るい抵抗した。

## なぜ？

- なぜ、突然Aさんは大声を出し、スタッフの髪を引っ張ったり、顔を殴るなどの暴力を振るって抵抗したのでしょうか？

その後の男性スタッフの対応は？

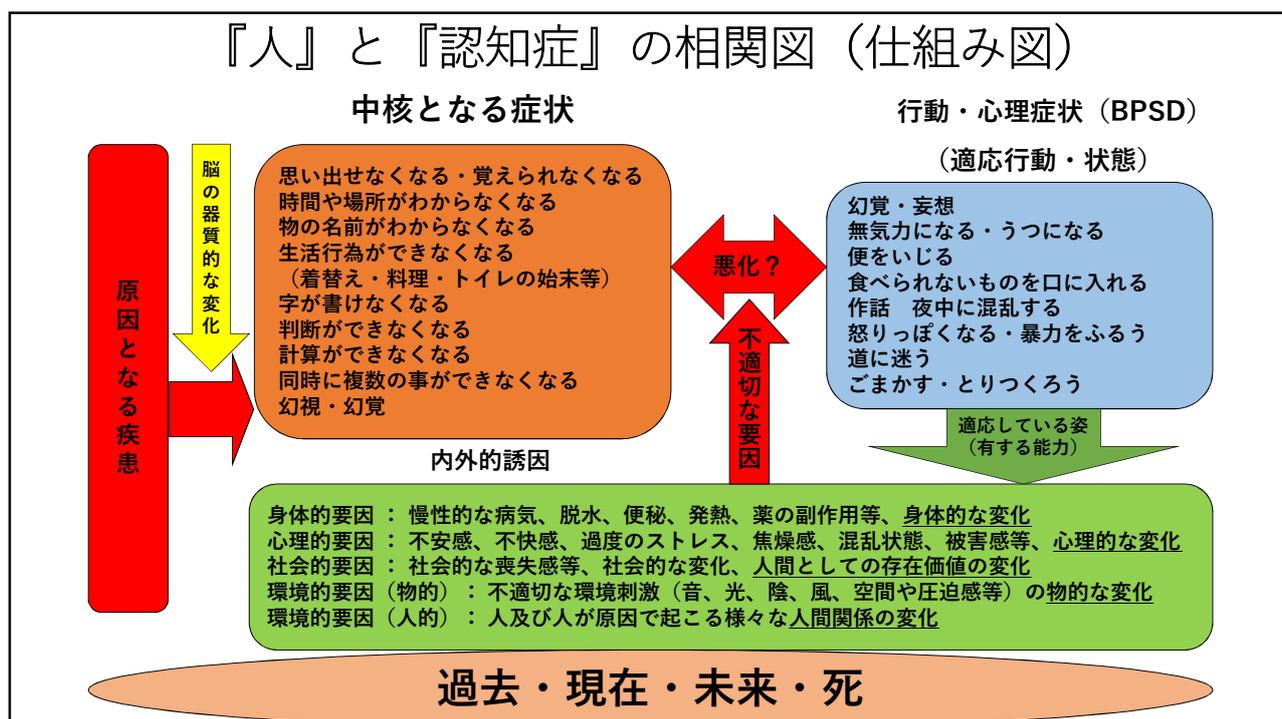
## 反応（リアクション）の姿

- あまりにも突然の出来事に思わず反応してしまい、Aさんの胸などを殴ってしまった。

## 応答（レスポンス）の姿

- その状況を事前にアセスメントできていたか？
- 業務をこなす事（オムツ交換）に重点が置かれてはいなかったか？
- Aさんが目覚めた時の反応を当たり前予測できていたか？

「予測を立てて考え、行動する力を養う」



では、このような場合は？

- 夜、眠らない方がいらっしゃいます。昨夜も不眠でした。就寝したかなと思いきやすぐに起きてきます。
- あなたはどう応じますか？

# 自分の現在地を知る

自分の「べき」を考える

いま  
どんな問題（思い通りにいっていないこと）  
がありますか？  
現在位置を知る

# 自分の現在位置を知る

## ブレーキを外す①

①いま感じている問題は？（状態を書く）

例）金が貯められない、嫌味を言う人がいる等

1. お金
2. 仕事
3. 趣味・楽しみ
4. 人間関係
5. 家族関係
6. 恋愛・結婚
7. 自分の性格・能力
8. 健康

②自分に何が「ない」と感じる

理由や言い訳を書いて下さい。

③何がきっかけでそう思うようになった？

あなたの体験をお書き下さい。

④ どうせ○○だし

- 「どうせ私は○○だし」を書いて下さい。

少し為になる話  
がんばっているあなたへ

## 職人の4つの返事

### ある職人さんのお話

- 職人の返事は4つでいい



- 『できる』のか
- 『できない』のか
- 『やりたい』のか
- 『やりたくない』のか

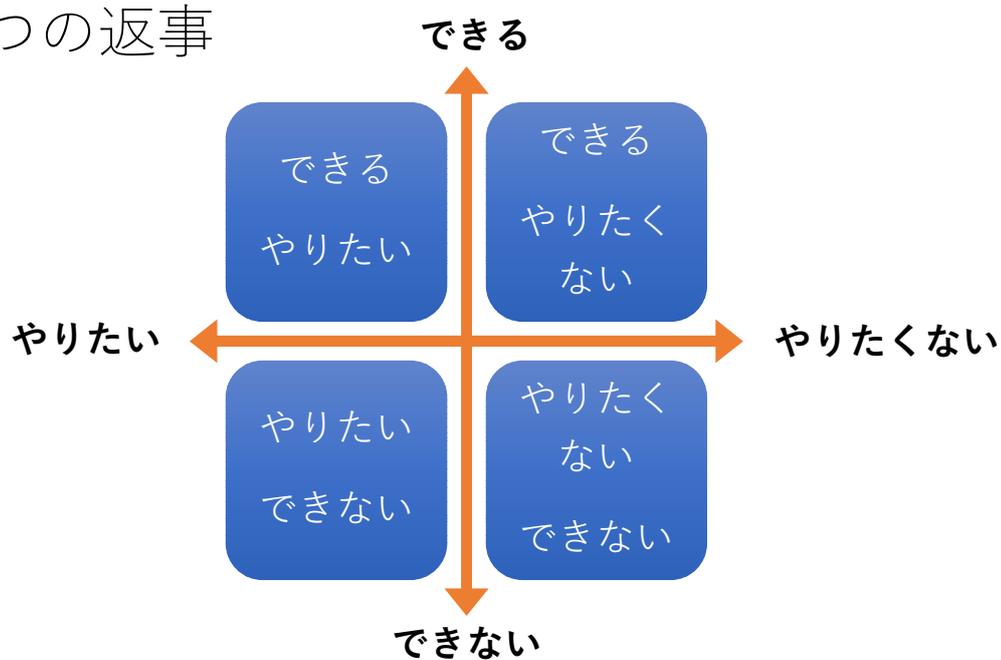


- 職人の世界では「できないけど、やりたい」と思う気持ち大切にするという

## 職人の4つの返事

- X軸→「できる」 $\longleftrightarrow$ 「できない」
- Y軸→「やりたい」 $\longleftrightarrow$ 「やりたくない」
- 人は、この組み合わせで動く生き物
- 一番幸福なのは？「やりたい」かつ「できる」
- 人は、やりたいことをするのが本来の姿

## 4つの返事



## 4つの返事の整理①

- 「やりたい」 + 「できる」 →大いにやるべき
- 「やりたい」 けど「できない」 →ぜひチャレンジすべき

## 4つの返事の整理②

- 「やりたくない」 けど「できる」 →できればやめたほうがいいが、それをしなくてはならないのなら動機づけを見直して、なるべく「やりたい」 + 「できる」 パターンに近づけてみよう
- 「やりたくない」 + 「できない」 →これは、絶対やらないほうがいい

## 大切なこと①

- やりたいことだけを行うのは、もったいない
- 「やりたくてもできない」ことに積極的に立ち向かうこと
- 実際に、頭と脳をよく使うことができるのがこの組み合わせのときだ

## 大切なこと②

- 「やりたい」という思いからくる工夫とネバリが脳の発達を促す原動力になる

## 気をつける点

- 人は「できない」ことを「やりたくない」と思う傾向があるということ
- 自分のホンネを、もう一度考えるいい機会と考えるといい
- 「それができたら自分は変わるかもしれない」と思えるなら、やるべき

## 自分を疑え！

- 本当に「やりたくない」ことなのか？
- やれる可能性を考える前に、「どうせ○○だからムリ」と、何かや誰かのせいにしてはいないだろうか？

## 大切なこと

- 「できない」ことを疑い、「やりたい」ことをずっと探しながら生きることが、脳を健全にコントロールする基本姿勢
- 諦めた瞬間にこそ、脳の萎縮が始まる

## 健康の秘訣は

嫌なことをやらない・言わない

セルフ（ストレス）マネジメントのすすめ  
7つの大切なこと（習慣）

1. 自分も他者もわかろうとしてみてください
2. 自分の「べき」「ねば」を開放してみてください
3. 魔法の言葉を使ってみてください⇒「へ～そうなんだ」
4. わからないことはちゃんと尋ねてください
5. 他者にウソをついても、自分にウソをつかないでください
6. 相手にとって受け取りやすい言い方をしてみてください⇒「好きな人に告白するような感じで」
7. 忙しい時こそ自分の心を見つける機会を持つことを忘れないでください

チームマネジメントのすすめ  
4つの自問

- ・ チームで共有していますか？
- ・ チームで合意形成していますか？
- ・ チームで同じ方向を向いていますか？
- ・ 又は、そうなるようそれぞれが努めていますか？

## トライアングルケアのすすめ

自分と他者の立ち位置・役目を考える

お互いに向き合うのではなく同じ方向をみる

## トップマネジメントのすすめ 3つの自答

- 決断をする
- スタッフが自由に仕事しやすい環境を創る
- 責任をとる

僕たちの「仕事」は、シンプルに言うと介護（ケア・支援）することが仕事です。でも、僕らの「仕事」のパフォーマンスって「僕らの状態」で違ってきませんか？いつもは、すごい時間がかかることでも、調子が良い時は一瞬でできたりするし、逆に、すぐにできるようなことでも、調子がイマイチの時はなまら時間がかかったりもする要は「自分の状態」で「仕事のパフォーマンス」って変わるものなのです。そう、自分の調子の良し悪しで、プロセスや結果が違ってしまいうってことです。本質的なことを言うと、何かを学んだり、身につけることよりも、自分が良い状態にいることの方が仕事の成果に結びつきやすい。僕らが「なまらいい状態」であれば、僕らの仕事がなんであれ「なまらいい仕事」ができるものなのです。だから、意外と仕事を頑張るよりも、自分の状態をよくすることを頑張った方が圧倒的に結果が出やすかったりするので。ってことは、あなたが最も重要視すべき仕事は、「あなたを良い状態にしてあげること」「あなたを満たしてあげること」なのです。それは、身体に良い食事をとることかもしれないし、運動をすることかもしれないし、好きな服を着ることかもしれません。それは、自然に触れることかもしれないし、お気に入りのカフェに行くことかもしれないし、愛する人と食事に行くことかもしれない。そんな自分にとっての楽しみを自分に与えてあげること。これが、あなたが何かを学ぶことなんかよりも重要視すべきことなんだ。

## つまり

僕たちは「自分を幸せにする事が一番の仕事」つまり虐待を無くす唯一の方法なのです。

僕がこれまで終始変わらず伝えて来たことは「因は我にあり」です。

虐待を防止する一番の手立ては、知識や技術を学びまくることよりも、僕らが「なまら良い状態」でいた方が良い仕事ができるということです。

😊有難う😊

♥自分を大切にすることが  
相手を大切にすること♥